

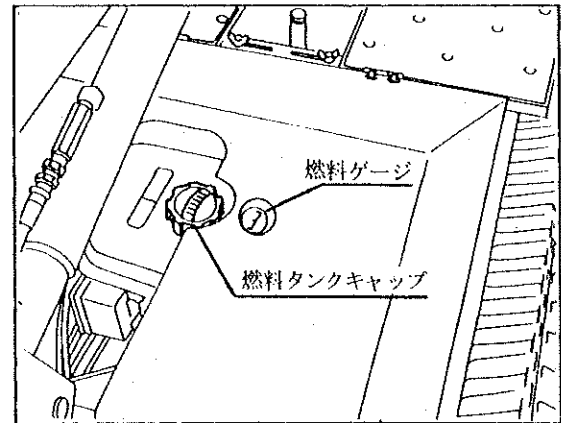
FHD-35

燃料について

■燃料の給油

始動前には、必ず燃料が十分入っているかどうか点検して下さい。

不足の場合はキャップを外して、燃料を補給して下さい。



燃料の種類	容量
レギュラガソリン (無鉛)	3.6ℓ

▲危険

火気厳禁

- ・給油中はエンジンを停止して下さい。
- ・キャップが締まっているか確認して下さい。
- ・こぼれた燃料は、完全にふき取って下さい。

補足

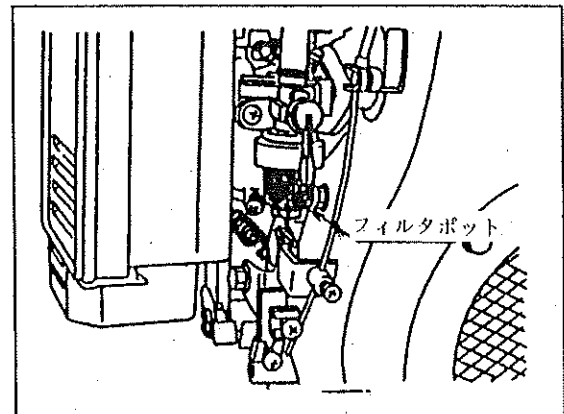
- ・燃料の給油は必ずこし網を用い、ゴミや水が混入しないようにして下さい。
- ・給油時機体を水平にして給油して下さい。

■燃料フィルターの清掃

- (1) 燃料フィルタは、燃料のゴミを取り除きます。ゴミはカップの底にたまりまます。
- (2) フィルタポットを外し、カップの底に貯まったゴミや水を捨てて下さい。

▲注意

フィルタポットの取付は、ガソリン漏れのないよう、しっかりと締め付けて下さい。



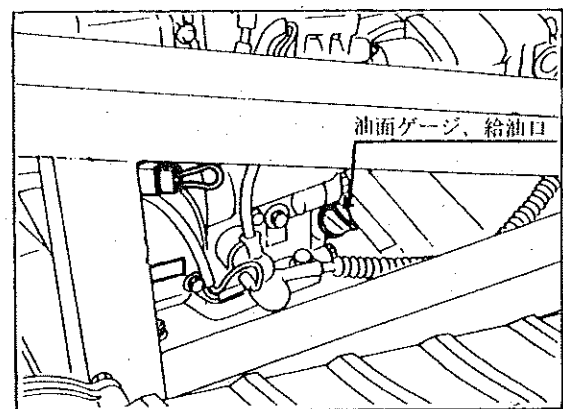
各部の給油、点検とオイル交換

■エンジンオイル

オイルの種類	クボタ純オイル
夏期 (15℃以上)	G30
冬期 (15℃未満)	G20W20

●エンジンオイル規定量・・・0.6ℓ

- (1) エンジンオイルが規定量入っているか点検して下さい。
- (2) オイル量がゲージの上下線の間であれば正常です。不足なら補給して下さい。

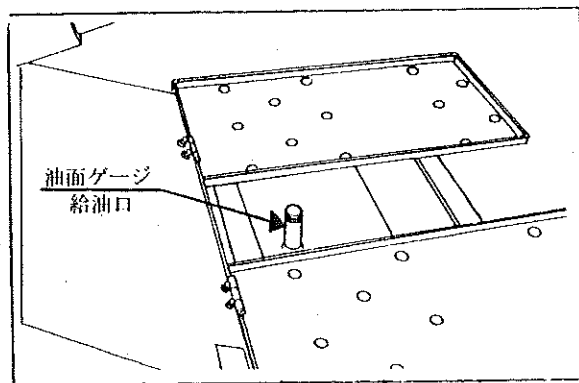


補足

- ・エンジン停止直後では、各部にオイルが残っていますので正確なオイル量が測れません。少なくとも停止後5分以上たってから、機体を水平にして点検して下さい。

■油圧作動油

- (1) 車体を水平にし、ブームを中央、下端において油量を点検して下さい。
- (2) 作動油が不足していれば、給油口より補給して下さい。
- (3) 作動油に水などが混入して、全量交換が必要なときは、タンクを本機から取り外し、全量排出して内部をよく洗浄した後、給油口より規定量注入して下さい。



●作動油規定量・・・約20ℓ

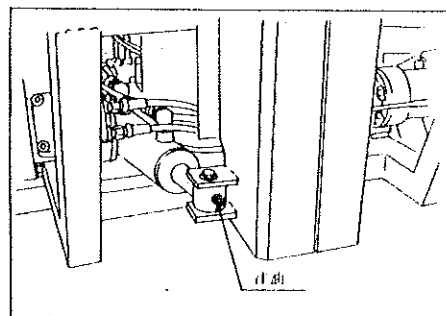
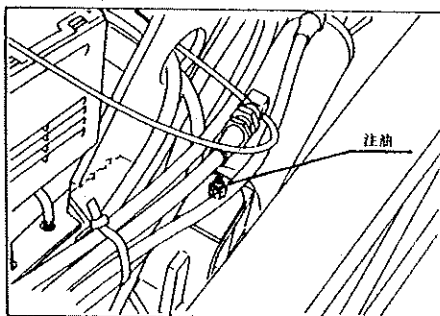
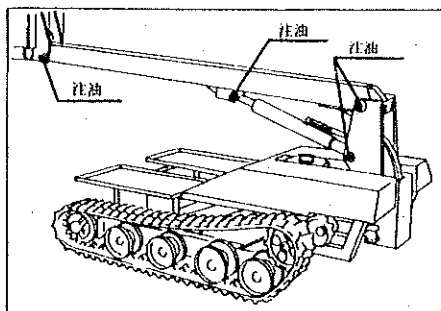
オイルの種類	クボタ純オイル KEW32
--------	------------------

補足

- ・給油時には、異物が混入しないよう付近の砂やゴミをよくふきとり、十分注意して行って下さい。
- ・補給する場合は、必ず同一銘柄の作動油を使用し、絶対に他銘柄と混合しないでください。

■各ジョイントピン部の給脂

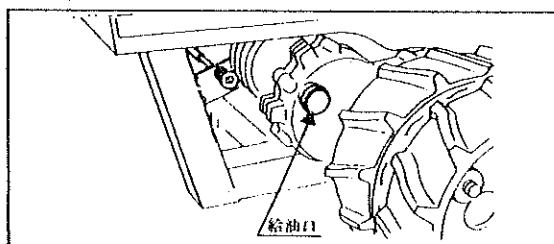
グリースの種類	クボタ スペアグリース
---------	----------------



■ギヤケースオイル

オイルの種類	クボタ純オイル M80B
--------	-----------------

●規定量・・・・・・約0.3ℓ



クローラの調節

ロックナットを弛め、アジャストボルトを締込んでクローラを張ります。

重要

- ・クローラの張りは、左右均等になる様にして下さい。
- ・調節後、ロックナットを必ず締付けて下さい。
- ・クローラの張り具合は、上面中央部を軽く手で押して、10～20mm位へこむのが最も良い状態です。

